



NEC Express5800 シリーズ

Power Console Plus™

ユーザーズマニュアル

2002年12月 第2版

ONL-3093aN-COMMON-019-99-0212

本書では、LSI Logicディスクアレイコントローラを接続したExpress 5800シリーズで使われる「Power Console Plus」について説明しています。

本書の内容は、Windowsの機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。Windowsに関する操作や不明点については、Windowsオンラインヘルプやマニュアルなどを参照してください。また、LSI Logicディスクアレイコントローラに関係する説明書もお読みください。

<u>商標について</u>

Microsoftとそのロゴおよび、Windows、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標です。

MegaRAID、WebBIOS、Power Console Plusは、米国LSI Logic Corpの登録商標または商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

目 次

8
8
8
9
15
21
22
37
42
43

6. 定期的なCheck Consistencyの実施	48
7. 電源制御抑止ドライバについて	50
AMI Standby/Hibernation Lock <i>をインストールする前に</i>	50
AMI Standby/Hibernation Lockのインストール	50
AMI Standby/Hibernation Lockのアンインストール	50
8. 注意事項	51

1. 概要

1.1 主な機能

Power Console Plusは、LSI Logicディスクアレイコントローラ(MegaRAIDコントローラ)のRAIDシス テムを制御するためのユーティリティです。Power Console Plusを使うことにより、ローカルのExpress サーバに構築されたRAIDシステムおよび、ネットワーク(TCP/IP)で接続されたExpressサーバに構築さ れたRAIDシステムの監視や保守などの操作を行うことができます。操作は、グラフィカルな画面で、シス テムを停止することなく、オンラインで行うことができます。

注) Power Console Plusのインストール/アンインストール時にはシステムを停止する必要があります。

Power Console Plusには、以下の特長があります。

- ・ コンフィグレーションが容易になるWizard機能をサポート
- ・ RAID Levelの変更が可能
- ・ SAF-TEに対応
- ・ パフォーマンスモニタをサポート
- ・ 温度監視、電源監視、ファン監視などのエンクロジャー機能をサポート
- ・ ロジカルドライブ単位のWrite/Read/Cacheポリシー設定が可能
- ・ コンフィグレーションのセーブ/リストア機能をサポート
- ・ SCSI転送レイトの表示が可能

1.2 コンポーネント構成

Power Console Plusは、5つのコンポーネントで構成されています。

- SNMP Agent SNMP経由でのESMPROによるMegaRAIDコントローラの監視を可能にします。 MegaRAIDコントローラを搭載しているExpressサーバにインストールします。
- MegaRAID Service Monitor イベントログ登録によりESMPROでのMegaRAIDコントローラの監視を可能にします。 MegaRAIDコントローラを搭載しているExpressサーバにインストールします。
- Synchronize Cache Utility

全てのサーバ、管理PCにインストールが必要なコンポーネントです。

• MegaRAID Client

グラフィカルな画面でRAIDシステムを制御します。 MegaRAIDコントローラを搭載しているExpressサーバやこのExpressサーバとネットワークで接続 された管理PCにインストールします。

MegaRAID Server

ネットワーク経由でのMegaRAIDコントローラの制御を可能にします。 MegaRAIDコントローラを搭載しているExpressサーバにインストールします。

MegaRAID Registration Server
 ネットワーク経由でのMegaRAIDコントローラの制御を可能にします。
 MegaRAIDコントローラを搭載しているExpressサーバか管理PCのいずれか1台にインストールします。

Power Console Plusを使うためには、これらのコンポーネントのうち必要なコンポーネントをインストールして環境設定する必要があります。

Power Console Plusのインストールでは、インストール対象となるExpressサーバや管理PCにより、 必要なコンポーネントをまとめてインストールします。

・サーバ

MegaRAIDコントローラを搭載しているExpressサーバ。 対象コンポーネントは、SNMP Agent, MegaRAID Service Monitor, Synchronize Cache Utility, MegaRAID Client, MegaRAID Server。

・管理PC

ネットワーク (TCP/IP) 経由でサーバを管理するコンピュータ。 対象コンポーネントは、Synchronize Cache Utility, MegaRAID Client。 管理PCは、TerminalServer, Terminal Serverエミュレータ, WBTを使用したクライアント上での動 作は保証していません。 管理PCのPower Console Plusの起動は、「サーバ」や「管理サーバ」がインストールされて いるマシンの起動後に行ってください。

・ 管理サーバ

同一ネットワーク(TCP/IP)上で接続されたサーバすべてを管理するコンピュータ。 対象コンポーネントは、Synchronize Cache Utility, MegaRAID Registration Server。

<u>『管理サーバ』は同一ネットワーク上にあるサーバ、管理PCの1台のみにインストールしてください。</u>

2. サーバのセットアップ

ここでは、MegaRAIDコントローラを搭載しているExpressサーバへのPower Console Plusのセットアップ について説明します。

2.1 動作環境

サーバ上でPower Console Plusが動作するために必要な動作環境について説明します。

- ・ ハードウェア
 - 本体 : LSI Logicディスクアレイシステムを構築しているExpress5800シリーズ
 - メモリ : OSの動作に必要なメモリ+8MB以上
 - ハードディスクの空き容量
 - ディスプレイ

- : 5MB以上
 - : 画面サイズが1024×768以上(800×600以下の場合、フォントサイ ズに小さな文字を使わないと、ボタンなどの表示ができない場合がありま す。)
- 必要な周辺機器 : Network Interfaceカード
 - : CD-ROM装置
 - : マウスまたはポイントデバイス

- ・ソフトウェア
 - Microsoft Windows 2000

ESMPROと連携させるときは、OSがインストールされていることに加え、ESMPRO/ServerAgent Version 4.0以降が 必要です(ESMPROを使ってMegaRAIDコントローラの監視ができます)。

2.2 準備

セットアップをする前に必要な準備について説明します。

- ・ MegaRAID コントローラが取り付けられていること。
- ・ MegaRAID コントローラのドライバが組み込まれていること。
- ・ Windows の SNMP サービスが組み込まれていること。
- Windows の TCP/IP の設定が終了していること。
- システムのアップデートが終了していること。
- Administrators グループでログオンされていること。
- ・ インストール時は Power Console Plus がアンインストールされていること(既にインストール済みの場合)。 また、ESMPRO 通報連携設定が解除されていること(ESMPRO 通報連携を設定していた場合)。

2.3 インストール

以下の手順にしたがって Power Console Plus をインストールします。

- 1) 装置本体の電源をONにして、Windows 2000を起動する。
- 2) 添付の「EXPRESSBUILDER」と書かれたCD-ROMをドライブにセットする。
- 3) [ソフトウェアのセットアップ] [ESMPRO]をクリックする。 ESMPROマスタコントロールメニューが表示されます。
- (関連ユーティリティメニューへ)をクリックする。
 関連ユーティリティメニューダイアログボックスが表示されます。
- 5) [Power Console Plus]をクリックする。

[セットアップオプションの選択]の画面が表示されます。

Power Console Plus 6) [インストール[コンホーネント:サーバ]] セットアッブオブションの選択 を選び、[次へ]ボタンをクリックする。 [インストール先ディレクトリの指定]の Power Console Plusのセットアップを行います。 セットアップオプションを選択して下さい。 画面が表示されます。 インストールロンボーネント:サーバ ○ インストールロンポーネント:サーバ +管理サーバ ○ インストールロンポーネント:管理PC 1 インストールするサーバを管理 ○ インストールロンポーネント:管理PC+管理サーバ] サーバにもしたい場合は、「コン ◎ アンインストールロンポーネント:すべてのコンポーネント ポーネント:サーバ + 管理サー バ]を選び、[次へ]ボタンをクリッ クします。 < 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル Power Console Plus 7) Power Console Plusのインストール インストール先ディレクトリの指定 先ディレクトリを指定して、[次へ]ボ タンをクリックする。 セットアップは次のディレクトリに Power Console Plus をインストールします。 インストール先ディレクトリを変更するには、「参照」ボタンをクリックしてディレクトリを指定してくださ [パスワードの指定]の画面が表示され ます。 - インストール先のフォルダ・ インストール先ディレクトリを変更 参照(R). C:¥Program Files¥MegaRAID する場合は、[参照]ボタンをク リックしてディレクトリを指定しま < 戻る(B) (二次へ(N))> キャンセル す。 ower Console Plus 8) Power Console Plusでフルアクセス バスワードの指定 を許可するためのパスワードを入力 して、[次へ]ボタンをクリックする。 Power Console Plus を フルアクセスモードでアクセス許可するためのパスワードを指定します。 パスワードは忘れないように管理してください。 インストールが開始され、セットアップの necl 自動実行が終了すると[セットアップの 完了1の画面が表示されます。 インストールの自動実行の途中でしば らく画面が止まっているように見える場 合があります。 < 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル (はい、今すぐコンピュータを再起動 します。)を選び、[完了]ボタンをク リックする。

システムが再起動されます。



2.4 環境設定

以下の環境設定を行います。

■ HOSTS ファイルの設定

このファイルの設定は、ネットワーク経由で制御する場合に必要です。設定内容は Power Console Plus のサーバ情報および管理サーバ情報、管理 PC 情報の下記項目です。この情報を Windows の TCP/IP で提供 / 参照される **HOSTS** ファイルに登録します。

・ネットワーク経由で制御するすべてのサーバ、管理 PC の IP アドレスとホスト名

・管理サーバの IP アドレスとホスト名

この項目は下の図のようにメモ帳などのテキストエディタで HOSTS ファイルに追加します。 追加した行の行末は必ず改行を行ってください。

HOSTS ファイルは Windows 2000 の場合、C:¥Winnt¥System32¥Drivers¥etc¥hosts です。

以下に Hosts ファイルの記載例を示します。

📋 Ho:	sts — /托帳			-	
ファイル	(E) 編集(E) 検索(S)	∿ルフ°(<u>H</u>)			
# Co	pyright (c) 1993-	1995 Micro	osoft Corp.		
⋕ Th	is is a sample HO	STS file u	used by Micr	osoft TCP/IP for Windows NT.	
# Th # en # be # Th # sp #	is file contains try should be kep placed in the fi e IP address and ace.	the mappir t on an ir rst columr the host r	ngs of IP ad ndividual li n followed b name should	dresses to host names. Each ne. The IP address should y the corresponding host nam be separated by at least one	è.
# Ad # li	ditionally, comme nes or following	nts (such the machir	as these) m ne name deno	ay be inserted on individual ted by a '#' symbol.	
⋕ Fo	r example:				
# #	102.54.94.97 38.25.63.10	rhino.a x.acme.	acme.com .com	# source server # x client host	
111. 111. 111.	111.111.1 111.111.2 111.111.3	NEC1 NEC2 NEC3			
4					

■ REGSERV.DAT ファイルの修正

ネットワーク経由で制御する場合は Power Console Plus が提供 / 参照する REGSERV.DAT ファ イルに登録済の下記管理サーバの情報の置換が必要です(Power Console Plus インストール時 に登録されているデフォルトの**ホスト名**は localhost です)。

・管理サーバの**ホスト名**

下の図のようにメモ帳などのテキストエディタで REGSERV.DAT ファイルを修正してください。 行末は必ず改行してください。

REGSERV.DAT ファイルは、Windows 2000 の場合、C:¥Winnt¥System32¥ Drivers¥etc¥ regserv.dat です。

以下に REGSERV.DAT ファイルの記載例を示します。

1 H		
# PLEAS	READ THIS INFORMATION CAREFULLY!	
# This # The H # assoc # corre # The H # direc # Repla # and p NEC1	ile MUST contain the name of the Registration server. STS file must contain the RAID server name(s) and their ated TCP/IP address. The Registration server name should oond to a name in the HOSTS file. STS file can be found in the %SystemRoot%¥system32¥drivers¥etc ory in Windows NT and in the %winbootdir% directory in Windows 9 e 'localhost' below with your Registration server name es enter.	5.

■ ESMPRO/ServerManager とのメニュー連携の設定

ESMPRO/ServerManager (Ver.4.0 以降)の統合ビューア(オペレーションウィンドウ)のツー ルメニューから Power Console Plus のアプリケーション (MegaRAID Client)を起動するため の設定 (ESMPRO メニュー連携)を行います。

設定は、本体添付の EXPRESSBUILDET と書かれた CD-ROM 内のフォルダ ¥ESMPRO¥JP¥I386¥Pcon にある ESMPRO メニュー連携設定ツール *PCPESMSM.EXE* により 行います。

ESMPRO メニュー連携を設定する前に必ず、「スタート」 「プログラム」 「MegaRAID Client」を実行して Power Console Plus が起動することを確認してください。実行しない場合に 連携が設定されないことがあります。

・エクスプローラなどから ESMPRO メニュー連携設定ツール *PCPESMSM.EXE* を実行する。 しばらくするとセットアップメッセージが順次表示されて終了します。

設定が完了すると、統合ビューア(オペレーションウィンドウ)のツールメニュー項目に Power Console Plus が追加されます。

設定完了以前に統合ビューアを起動していた場合は、一旦、終了後、再度、統合ビューアを起動 し直すことによりメニュー項目へ追加されます。

注意事項

ESMPROメニュー連携を設定する場合は、「スタート」 「プログラム」に作成された Power Console Plus のメニュー項目「MegaRAID Client」を移動したり名前を変更したりしないでください。

メニュー項目「MegaRAID Client」を移動したり名前を変更した場合、ESMPRO メニュー連携 は設定されません(既に ESMPRO メニュー連携が設定されてるときは、設定が解除されます)。

補足事項

・ESMPRO メニュー連携の設定を行うには、ESMPRO/ServerManager (Ver.4.0 以降)および MegaRAID Client がインストールされている必要があります。

・ESMPRO メニュー連携の設定を解除するには、Power Console Plus (MegaRAID Client)が アンインストールされている必要があります。

・MegaRAID Client がインストールされているかは、「スタート」 「プログラム」メニュー 項目に「MegaRAID Client」があるかで確認できます。

・ESMPRO メニュー連携が設定されているかは、ESMPRO/ServerManager の統合ビューア(オ ペレーションウィンドウ)のツールメニュー項目に「Power Console Plus」があるかで確認でき ます。

・ESMPRO/ServerManager をアンインストールすると、ESMPRO メニュー連携の設定も解除 (アンインストール)されます。

■ フルアクセスを許可するパスワードの変更

インストール時に指定したフルアクセスを許可するパスワードを変更するには、Power Console Plus が提供するパスワード変更ツール **SETPASS.EXE** により行います。

エクスプローラなどから Power Console Plus のインストール先のサブフォルダ *rserver* にあるパスワード変更ツール *SETPASS.EXE* を実行する。 旧パスワード Old Password と新パスワー ド New Password/Retype Password を入 力して[OK]ボタンをクリックします。

tting Password Version 2.01	×
Change password for Remote MegaRAID Administrator	
Old Password ****	
New Password *****	
Retype Password *****	
Cancel	

万一、旧パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードファイル RAIDPASS.VAL を削除して からパスワード変更ツール SETPASS.EXE により再度、パスワードを設定します。

パスワードファイル RAIDPASS.VAL は、C:¥Winnt¥System32¥Drivers¥etc¥raidpass.val です。

パスワードファイルRAIDPASS. VALは、Power Console Plusでフルアクセスを許可するためのパスワードが格納された重要なファイルです。 「「」で、パスワードファイルRAIDPASS. VALのNTFSファイルアクセス権をAdministrator権限等に 変更して、削除/移動を管理者のみに制限するようガードしてください。

2.5 アンインストール

以下の手順にしたがって Power Console Plus をアンインストールします。

- 1)添付の「EXPRESSBUILDER」と書かれたCD-ROMをドライブにセットする。
- 2) [ソフトウェアのセットアップ] [ESMPRO]をクリックする。 ESMPROマスタコントロールメニューが表示されます。
- (関連ユーティリティメニューへ)をクリックする。
 関連ユーティリティメニューダイアログボックスが表示されます。
- 4) [Power Console Plus]をクリックする。

[セットアップオプションの選択]の画面が表示されます。

5) [アンインストール[コンポーネント:すべての コンポーネント]]を選び、[次へ]ボタンをク リックする。

アンインストールが開始され、セットアップ の自動実行が終了すると[セットアップの完 了]の画面が表示されます。

アンインストールの自動実行の途中でしば らく画面が止まっているように見える場合 があります。

Power Console Plus セットアップオブションの選択	×
Power Console Plusのセットアップを行います。 セットアップオプションを選択して下さい。	
◎ インストールロンポーネント:サーバ]	
○ インストールロンポーネント:サーバ +管理サール	<u>v:</u>
○ インストールロンポーネント:管理PC]	
○ インストールロンポーネント:管理PC+管理サーバ	1
 アンインストールロンボーネット:すべてのコンボーネ) 	2
In statistical	
1164.000701210	< 戻る(B) (次へ(N)) キャンセル

6) [はい、今すぐコンピュータを再起動しま す。]を選び、[完了]ボタンをクリックする。

システムが再起動されます。



3. 管理PCのセットアップ

ここでは、ネットワーク(TCP/IP)経由でサーバを管理するコンピュータへのPower Console Plusのセット アップについて説明します。

3.1 動作環境

管理PCでPower Console Plusが動作するために必要な動作環境について説明します。

- ・ハードウェア
 - 本体 : Express5800シリーズ
 PC98-NXシリーズ
 PC/AT互換機(Intel Pentiumまたはそれ以上のCPU搭載のこと)
 メモリ : OSの動作に必要なメモリ+8MB以上
 ハードディスクの空き容量 : 5MB以上
 表示装置 : 画面サイズが1024×768以上(800×600以下の場合、フォントサイズに小さな文字を使わないと、ボタンなどの表示ができない場合があります。)
 必要な周辺機器 : Network Interfaceカード
 CD-ROM装置
 - : マウスまたはポイントデバイス

・ソフトウェア

- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows NT Version 4.0 (Windows NT Version 4.0 Service Pack 5以降 + Internet Explorer 4.01 Service Pack 2以降)
- Microsoft Windows 95/98/Me (Internet Explorer 4.01 Service Pack 2以降)

ESMPROと連携させるときは、以上のうちのいずれかのOSがインストールされていることに加え、次のソフトウェアが必要です。

- ESMPRO/ServerManager Version 3.8以降(ESMPRO/ServerManagerのツールメニューからPower Console Plusを起動することができます)

3.2 準備

セットアップをする前に必要な準備について説明します。

- ・ Windows の TCP/IP の設定が終了していること。
- ・ システムのアップデートが終了していること。(Express をご使用の場合)
- ・ Administrators グループでログオンされていること。(Windows NT/2000 の場合)
- ・ インストール時は Power Console Plus がアンインストールされていること(既にインストール済みの場合)。

3.3 インストール

以下の手順にしたがって Power Console Plus をインストールします。

- 1)添付の「EXPRESSBUILDER」と書かれたCD-ROMをドライブにセットする。
- 2) [ソフトウェアのセットアップ] [ESMPRO]をクリックする。 ESMPROマスタコントロールメニューが表示されます。
- 3) [関連ユーティリティメニューへ]をクリックする。 関連ユーティリティメニューダイアログボックスが表示されます。
- 4) [Power Console Plus]をクリックする。

[セットアップオプションの選択]の画面が表示されます。

5) [インストール[コンポーネント:管理PC]]を選び、 [次へ]ボタンをクリックする。

[インストール先ディレクトリの指定]の画面が表示されます。



インストールする管理 PC を管理サーバに もしたい場合は、[コンポーネント:サーバ + 管理サーバ]を選び、[次へ]ボタンをク リックします。

 Power Console Plusのインストール先ディレ クトリを指定して、[次へ]ボタンをクリックする。

インストールが開始され、セットアップの自動実 行が終了すると[セットアップの完了]の画面が表 示されます。

インストールの自動実行の途中でしばらく画面が 止まっているように見える場合があります。



Power Console Plus	×
インストール先ディレクトリの指定	
セットアップは次のディレクトリに Power Console Plus をインストール	します。
インストール先ディレクトリを変更するには、「参照」ボタンをクリックし い。	てディレクトリを指定してくださ
インストール先のフォルジ C¥Program Files¥MegaRAID	参照 (2)
InstallShield <戻る(2)	

インストール先ディレクトリを変更する場合 は、[参照]ボタンをクリックしてディレクトリを指定します。 7) [完了]ボタンをクリックする。



※ 各画面は、Windows2000へのインストール時のものです。

3.4 環境設定

以下の環境設定を行います。

■ HOSTS ファイルの設定

設定内容は Power Console Plus のサーバ情報および管理サーバ情報、管理 PC 情報の下記項目 です。この情報を Windows の TCP/IP で提供 / 参照される HOSTS ファイルに登録します。

・ネットワーク経由で制御するすべてのサーバ、管理 PC の IP アドレスとホスト名

・管理サーバの IP アドレスとホスト名

この項目はメモ帳などのテキストエディタで HOSTS ファイルに追加します。追加した行の 行末は必ず改行を行ってください。

HOSTS ファイルは、Windows 2000/NT の場合 C:¥Winnt¥System32¥Drivers¥etc¥hosts 、 Windows95/98/Me の場合、C:¥Windows¥hosts です。

以下に Hosts ファイルの記載例を示します。

目 Hosts - 戌帳						
アガルビ 編集史 使来る かんせ # Copyright (c) 1993-1995 Microsoft Corp.						
# # This is a sample HOSTS file used by Microsoft TCP/IP for Windows NT.						
<pre># # This file contains the mappings of IP addresses to host names. Each # entry should be kept on an individual line. The IP address should # be placed in the first column followed by the corresponding host name. # The IP address and the host name should be separated by at least one # space. # Additionally, comments (such as these) may be inserted on individual # lines or following the machine name denoted by a '#' symbol. # For example:</pre>						
# 102.54.94.97 rhino.acme.com # source server # 38.25.63.10 ×.acme.com # × client host						
111.111.111.1 NEC1 111.111.111.2 NEC2 111.111.111.3 NEC3						
۲ ۲						

■ REGSERV.DAT ファイルの修正

Power Console Plus が提供 / 参照する REGSERV.DAT ファイルに登録済の下記管理サーバの情 報の置換が必要です (Power Console Plus インストール時に登録されているデフォルトの**ホス** *ト名*は localhost です)。

・管理サーバの**ホスト名**

メモ帳などのテキストエディタで REGSERV.DAT ファイルを修正してください。行末は必ず改行してください。

REGSERV.DAT ファイルは、Windows2000/NT の場合 C:¥winnt¥System32¥Drivers¥etc¥ regserv.dat、Windows95/98/Me の場合 C:¥System32¥Drivers¥etc¥regserv.dat です。

以下に REGSERV.DAT ファイルの記載例を示します。

I#		1
#	PLEASE READ THIS INFORMATION CAREFULLY!	
######	This file MUST contain the name of the Registration server. The HOSTS file must contain the RAID server name(s) and their associated TCP/IP address. The Registration server name should correspond to a name in the HOSTS file. The HOSTS file can be found in the %SystemRoot%¥system32¥drivers¥etc directory in Windows NT and in the %winbootdir% directory in Windows 95 Replace 'localhost' below with your Registration server name and press enter.	
NE		

■ ESMPRO/ServerManager とのメニュー連携の設定

ESMPRO/ServerManager (Ver.4.0 以降)の統合ビューア(オペレーションウィンドウ)のツー ルメニューから Power Console Plus のアプリケーション (MegaRAID Client)を起動するため の設定 (ESMPRO メニュー連携)を行います。

設定は、本体添付の EXPRESSBUILDET と書かれた CD-ROM 内のフォルダ ¥ESMPRO¥JP¥I386¥Pcon にある ESMPRO メニュー連携設定ツール *PCPESMSM.EXE* により 行います。

ESMPRO メニュー連携を設定する前に必ず、「スタート」 「プログラム」 「MegaRAID Client」を実行して Power Console Plus が起動することを確認してください。実行しない場合に 連携が設定されないことがあります。

・エクスプローラなどから ESMPRO メニュー連携設定ツール *PCPESMSM.EXE* を実行する。 しばらくするとセットアップメッセージが順次表示されて終了します。

設定が完了すると、統合ビューア(オペレーションウィンドウ)のツールメニュー項目に Power Console Plus が追加されます。

設定完了以前に統合ビューアを起動していた場合は、一旦終了後、再度、統合ビューアを起動し 直すことによりメニュー項目へ追加されます。

注意事項

ESMPRO メニュー連携を設定する場合は、「スタート」 「プログラム」に作成された Power Console Plus のメニュー項目「MegaRAID Client」を移動したり名前を変更したりしないでください。

メニュー項目「MegaRAID Client」を移動したり名前を変更した場合、ESMPRO メニュー連携 は設定されません(既に ESMPRO メニュー連携が設定されているときは、設定が解除されま す)。

補足事項

・ESMPRO メニュー連携の設定を行うには、ESMPRO/ServerManager (Ver.4.0 以降)および MegaRAID Client がインストールされている必要があります。

・ESMPRO メニュー連携の設定を解除するには、Power Console Plus (MegaRAID Client)が アンインストールされている必要があります。

・MegaRAID Client がインストールされているかは、「スタート」 「プログラム」メニュー 項目に「MegaRAID Client」があるかで確認できます。

・ESMPRO メニュー連携が設定されているかは、ESMPRO/ServerManager の統合ビューア(オ ペレーションウィンドウ)のツールメニュー項目に「Power Console Plus」があるかで確認でき ます。

・ESMPRO/ServerManager をアンインストールすると、ESMPRO メニュー連携の設定も解除 (アンインストール)されます。

3.5 アンインストール

以下の手順にしたがって Power Console Plus をアンインストールします。

- 1)添付の「EXPRESSBUILDER」と書かれたCD-ROMをドライブにセットする。
- 2) [ソフトウェアのセットアップ] [ESMPRO]をクリックする。 ESMPROマスタコントロールメニューが表示されます。
- (関連ユーティリティメニューへ)をクリックする。
 関連ユーティリティメニューダイアログボックスが表示されます。
- 4) [Power Console Plus]をクリックする。

[セットアップオプションの選択]の画面が表示されます。

5) [アンインストール[コンポーネント:すべてのコン ポーネント]]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

アンインストールが開始され、セットアップの自動 実行が終了すると[セットアップの完了]の画面が 表示されます。

アンインストールの自動実行の途中でしばらく画 面が止まっているように見える場合があります。



6) [完了]ボタンをクリックする。

Power Console Plus	
	セットアップの完了 セットアップは、コンピュータからの Power Console Plus のアンイン ストールを除了しました。Power Console Plus を完全に印除するに は、Windowsを再起動する必要があります。 © [<u>まし、今すぐコンピュー校を再起動します。</u>] C しいえ、後でユビュー校を再起動します。 除了」をクリックして、セットアップを終了してください。
	< 戻る(日) 完了 キャンセル

※ 各画面は、Windows2000のアンインストール時のものです。

4. Power Console Plusの機能

ここでは Power Console Plus の機能について説明します。

 Configuration
 Adapter
 Physical Drv
 Logical Drv
 Progress
 Help

 Image: Solution State
 Image: **\$**\$ 7 ▼ 🔤 Adapter_1 • R NTO(LOCAL) Physical Devices Channel 1 Channel 2 (0)A1-1-Onin (1)A1-2-Onin 🔺 🤤 Channel 3 Channel 4 -😑 (2)A1-3-Onin - CIBEADY - (4)READY - (4)READY - (5)READY --) (6)Process Logical Devices Adapter Array 1 Contract O Physical View 🖅 Global Hot Spare Pool No of Physical drives 7 No of Logical drives 1

Power Console Plus を起動すると次の画面が表示されます。

Power Console Plus の画面レイアウト

構成要素	説明
メニューバー	Configuration、Adapter、Physical Drv、Logical Drv、Progress、Help メ ニューオプションが選択可能です。
ツールバー	機能を容易に選択するためのアイコンです。
コンボボックス	コントローラ、またはサーバを選択します。
Physical Devices View	SCSI Channel に接続された物理デバイス情報を表示します。
Logical Devices View	ホットスペアとロジカルドライブを表示します
ラジオボタン	Logical Devices View の Logical View と Physical View を選択します。
最下段	システムに接続されているアレイのロジカルドライブと物理ドライブの数 を表示します。



Rebuild 中や Performance Monitor の表示、Reconstruction 実施中は異なるサーバを選択することができません。

- ・ Power Console Plus が既に動作中の場合、新サーバへのアクセスができません。
- ビューオンリー(View Only)モードからフルアクセス(Full Access)モードへの変更はできません。
 Power Console Plus を一旦、終了し、再度、Power Console Plus を起動して下さい。起動時は
 サーバを選択し、フルアクセスモードでのパスワードを入力してください。

4.1 ツールバー アイコン

Power Console Plus の画面の上方にいくつかのツールバーアイコンがあります。このアイコンで Power Console Plus の機能を容易に選択することができます。

Display Configuration アイコン



このアイコンをクリックすると選択しているコントローラの RAID システムのコンフィグ レーション情報を表示します。

Raid System Configuration			_ 🗆 X
Server : Local_Serv	Adapter :	Adapter_1	
Number Of Logical Drives: 1.			^
Logical Drive 1 State · Optimal			
RAID TYPE : 5			
Write Policy : Write Back			
Cache Policy : Read Anead			
Stripe Size : 8K Bytes			
No. of Stripes : 6			
Component Physical Drives :			
BANK 0			
CHANNEL : 1, TARGET : 0			
CHANNEL: 1, TARGET: 1			
CHANNEL : 1, TARGET : 2 CHANNEL : 1, TARGET : 3			
CHANNEL : 1, TARGET : 4			•

<u>Print アイコン</u>



このアイコンをクリックすると、選択しているコントローラの RAID システムのコンフィグ レーション情報を印刷します。

<u>Wizard Configuration アイコン</u>



このアイコンをクリックすると、RAID システムのコンフィグレーションを行うことができ ます。

<u>Clear Configuration アイコン</u>



このアイコンは絶対にクリックしないでください。 現在使用しているコンフィグレーション情報を消してしまいます。

Adapter Properties アイコン

このアイコンをクリックすると、選択しているコントローラのプロパティ情報を表示します。



		Logical drive properties :
		Number Of Logical Drives: 3.
		Logical Drive 0
Firmware Version :	7.64.55	State : Optimal RAID TYPE : 0
BIOS Version :	4.34.31	Write Policy : Write Thru Read Policy : Adaptive Read Ahead Cache Policy : Cached 1/0
Rebuild Rate :	100	Stripe Size : 8K Bytes
Cache Size :	16 MB	Size : 8682MB Component Physical Drives :
		BANK 0
		CHANNEL : 0, ID : 2

Physical Drive アイコン

このアイコンをクリックすると、選択した物理ドライブのプロパティ情報を表示します。



Physical Drive Proper	rties	
Device Identification		
Vendor :	SEAGATE	
Product :	ST32171W	
Revision :	0	
SCSI Level :	2	
Device Attributes		
Channel :	1 ID : 2	
Size :	2060 MB.	
State :	Online	
Device Attributes		
Media error:	0	
Non-media error:	0 <u>R</u> eset Error Count	ers
Predictive Failure:	0	
Qk	<pre></pre>	/e >

Logical Drive アイコン



このアイコンをクリックすると、選択したロジカルドライブのプロパティ情報を表示します。

Logical Drive :	0	Size	:	8682 MB.
RAID Level :	RAID 0	State	:	Optimal
Read Policy :	Adaptive Read Ahead	Stripe S	ize :	8K
Write Policy :	Write Thru			
Cache Policy :	Cached I/O			
Virtual sizing :	Disabled			

<u>Rebuild Rate アイコン</u>



このアイコンをクリックすると、Rebuild や Reconstruction の I/O レイトを変更することが できます。

<u>Rescan アイコン</u>



このアイコンをクリックすると、選択しているコントローラのすべてのドライブ構成情報を 確認するために、Channelをスキャンします。このスキャンで、表示が最新の情報に更新さ れます。

Display Log アイコン

このアイコンをクリックすると、次のようにログを表示します。



XI View LOG Fil	e					_ 🗆 X
	Server ID :	(LOCAL)		Adapter ID :	Adapter_1	
Battery backu	p:Trickle charg	e on - FriDec 1	2 06:55:36	1997		
4						▼ ▶
		<u>O</u> k	<u>C</u> lear		Print	<u>H</u> elp



Power Console Plus 動作中のログが Raid.log に記録されます。Raid.log は Power Console Plus (MegaRAID Client)の動作ディレクトリに作られます。

インストール先が「C:¥Program Files¥MegaRAID」の場合、動作ディレクトリは、「C:¥Program Files¥MegaRAID¥Client」になります。

<u>Exit アイコン</u>



このアイコンをクリックすると、Power Console Plus を終了することができます。

<u>Help アイコン</u>



このアイコンをクリックすると使用している Power Console Plus についての情報を表示し ます。

4.2 メニューバー オプション

オプション	説明
Configuration	RAID システムのコンフィグレーションを行うための Wizard を起動できます。
Adapter	コントローラに関するオプションを選択できます。 スピーカの使用設定、Performance Monitor の起動ができます。
Physical Drv	物理ドライブのプロパティ表示や Rebuild ができます。
Logical Drv	Check Consistency、プロパティの表示、Initialize ができます。
Progress	Rebuild、Initialize、Check Consistency、Reconstruction の進捗表示や Performance Monitor の表示ができます。
Help	Power Console Plus の情報を表示できます。

Power Console Plus のメニューは次のとおり。

Configuration メニュー

HegaRAID Power Console Plus - Version 4.00t-J (M) (Standard) Configuration Adapter Provided Dry Degrees Help	<u></u>
<u>₩eard</u>	
Display Brint Adapter 1	
Base Clear Contract 2 Load Clear Contract 2 Clear Contract 2 Channel 3 Clear Contract 2 Other Contract 3 Clear Contract 2 Other Contract 3 Clear Contract 3 Other Contract 4 Other Contract 4 Other Contract 4 <th></th>	
GIREADY GIREADY GIAT-1-Onin GIREADY GIREADY	
Logical Devices	
en Adgeter ← Pring: ↓ C1: FADD 0: 4094 MB ← Pring: 2 ↓ C2: RATO:STRO MB ← Global Hot Spare Pool	⊂ Logical View ⊂ Physical View
No of Physical drives 15	No of Logical drives 2

- Wizard

コンフィグレーションを行ないます。Automatic Configuration と Custom Configuration があります。 起動すると次の画面を表示します。

8 MegaRAID Power Con	sole Wizard
Action: Starting	
	This wizard will help you to configure your RAID system quickly and easily.
	Custom Allows you to define all aspects of the
	configuration (arrays,logical drives) and their parameters
₽	C Automatic : Automatically defines arrays and logical drives and sets their parameters.
	Redundancy : If checked, Automatic Configuration will create redundant arrays, where possible
	< Back Next > Cancel Help
To start configuration, c	lick next. Custom configuration

この画面は Custom Configuration を選択しています。

Automatic Configuration: 物理ドライブの接続状況や Redundancy チェックボックスのチェックの 有無によって、最適な RAID システムを自動的に構成します。 「Automatic」を選択し、「Next」ボタンをクリックすると次の画面が表 示されます。

🗰 MegaRAID Power Console Plus Wizard		_ 🗆 🗙
Action: Configuration Preview		
Physical Devices Channel 1 Channel 2 Channel 2 Channel 3 (1)1-1 Online (2)1-1 Online (2)1-1 Online Channel 3 (3)42 (4)43 (5)52 (6)Frocessor	Channel 4	
Logical Devices ■ Adapter ● Aray 1 L D 1: RAID 5: 4306 MB ● Aray 2 L D 2: RAID 1: 4338 MB ● D 2: RAID 1: 4338 MB ● D 1: BAID 0: 2032 MB		C Logical View
	< Back Finish C	Cancel Help
Click Finish to save the configuration	Automatic c	onfiguration

Custom Configuration :

使用する物理ドライブや作成するロジカルドライブの詳細を指定して Configuration を作成します。「Custom」を選択して「Next」ボタンをク リックすると次の画面を表示されます。

🗰 MegaRAID Power Console Plus Wizard	
Action: Array Definition	
Physical Devices	
Channel 1 (j5)CDRom (j5)CDRom (j4)1-Online (j4)1-Online (j4)1-Bady (j5)Ready (j5)Ready (j5)Ready (j5)Ready (j5)Ready	Add to Array Add Spare
Logical Devices	
Adapter	Accept Array
	Reclaim
< Back	Next > Cancel Help
Select drive(s),Add to Array and click Accept Array to close	Custom configuration

アレイを構成するドライブを選択し、「Add to Array」ボタンをクリック します。Wizard 動作中は既存のアレイにドライブを追加することができま せん。

ホットスペアを追加するためにはホットスペアにするドライブを選択し 「Add Spare」ボタンをクリックします。

表示の構成に同意するときは「Accept Array」ボタンをクリックします。

最後に構成したアレイを削除するときは「Reclaim」ボタンをクリックし ます。

提案のコンフィグレーションを受け入れるときは「Next」ボタンをクリッ クします。画面に従いコンフィグレーションを完了してください。

- Display
 - カレントの RAID システムのコンフィグレ-ションを表示します。
- Print
 - カレントの RAID システムコンフィグレ-ションを印刷します。
- SAVE
 - ハードディスクドライブやフロッピーディスクにコンフィグレーションを保存します。
- LOAD

保存したコンフィグレーションを回復します。このオプションを選択すると、次の画面が表示されます。 ここで、ファイル名の入力とディレクトリを指定してください。

この機能は保守用です。操作しないようにお願いいたします。誤った操作を行なうとデータを C

Load Configu	ration ? 🔀
Look jn:	🖃 3½ Floppy (A:)
Inraid In Raid.con Inraid Inraidscrn.da	st
File <u>n</u> ame: Files of <u>t</u> ype:	Open System Files (*.sys) Open as read-only

損失する可能性があります。

- Clear Configuration

ディスクアレイのコンフィグレーション情報をクリアします。



- EXIT

Power Console Plus を終了します。

Adapter メニュー

Configuration Adapter Physical Drv Logical Drv Progress Help				
🛍 🗗 Urdete Einnware 🛛 🗗 🦽 🎇 🗐 🍕 🍸				
Performance Monitor On				
Adapter_1				
Diagnostics				
Channel : Rescan				
- (1)A1- Enclosure Management				
Alarm Control				
Fast Initialization				
Locical Devices				
Adapter				
∲	 Logical View 			
LD 1 : RAID 5 : 2000 MB	C Physical View			
Global Hot Spare Pool Global Ho				
<u></u>				
No of Physical drives 3	No of Logical drives 1			

Adapter メニューの詳細は以下の通り

オプション	説明	備考
Update Firmware	-	このオプションは使用 できません。
Flush Cache	強制的にコントローラのキャッシュメモリの内容をロジ カルドライブに書きこみます。	
Performance Monitor On/Off	ロジカルドライブのパフォーマンスをグラフィカルに表示します。表示は棒グラフまたは折れ線グラフを選択可 能です。このオプションは単に表示の有無を選択するだ けです。	
Properties	コントローラの SCSI 仕様、キャッシュメモリサイズ、 Rebuild Rate、ファームウェアや BIOS のバージョンを 表示します。	
Diagnostics	-	このオプションは使用 できません。
Rebuild Rate	ドライブの Rebuild Rate を変更します。	
Rescan	SCSI Channel を再スキャンします。	
View Log	MegaRAID イベントログを表示します。	
Enclose Management	物理 RAID ドライブキャビネットの管理を行います。 RAID エンクロージャを図示します。RAID Channel の 実動時間での状態を表示します。エンクロージャ装置の 追加や削除を管理します。	
Alarm Control	物理ドライブがフェイルしたときのシステムアラームの 鳴動の有無を設定します。	
Fast Initialization	高速イニシャライズを行うかどうかを設定します。	

- Flush Cache

MegaRAID システムを緊急に電源断しなければならないときにデータを完全に保護するためにキャッシュメモリの内容をドライブに書き出します。

- Performance Monitor

On を選択した場合はドライブパフォーマンスをグラフ表示します。Offを選択した場合はこの機能は 動作しません。表示はロジカルドライブの選択やグラフのタイプの選択ができ、画面のアレンジも可能 です。

		PERFOR	IMANC	ЕM	ONI	FOR	-	•
<u>A</u> rrange	⊻iew	<u>O</u> ptions						
	KB/Sec	:	-	0		IO/Sec	•	•
12					12			
11					11			
10					10			
9					9			
8					8			
7					7			
6					6			
5					5			
4					4			
3					3			
2					2			
1					1			
	DO	D1			0	DO	D1	

- Properties

コントローラのプロパティを表示します。

Firmware Version : U.79 BIOS Version : 1.47 Rebuild Rate : 100 Cache Size : 4 HB SCSI Transfer Rate : Ultra	Number Of Logical Drives: 1. Logical Drive 1 State : Optimal RAID TYPE : Ohimal White Policy : White Manda Cache Policy : Cached I/O Stripe Size : 64K Bytes No. of Stripes : 1 Size : 1000MB Component Physical Drive : SPAN 0 CHANEL: 1, ID : 1 I I I I	<u>×</u>
---	--	----------

- Rebuild Rate

システムリソース全体に対するフェイルドライブの Rebuild 処理に割り当てる Rebuild Rate を指定し ます。設定は REBUILD RATE 設定画面で Rebuild の比率をスライダで設定し、「OK」ボタンをクリッ クします。

	E	×
0		100
	50	ŀ
<u>0</u> k	<u>C</u> ancel	<u>H</u> elp



高いパーセンテージを選ぶと処理能力を優先的にリビルトに使い、低いパーセンテージを選ぶ とリビルト中のシステムのパフォーマンス問題を最小限にとどめます。



Rebuild Rate を高い比率にすると、システムに対して様々な障害が発生する可能性があります。Rebuild Rate の値は 30 以下にしておくことを推奨します。

- Rescan

すべての SCSI Channel を再スキャンし、接続された SCSI デバイスの状態を更新します。

- View Log

MegaRAIDイベントログを表示します。

• View LOG File	e					_ 🗆 X
	Server ID :	(LOCAL)	A	dapter ID:	Adapter_0	
Battery backu !!!Writing Conf	p:Module missin iguration File !!!	g - Fri Oct 31 08: - Fri Oct 31 08:4	43:07 1997 18:17 1997			<u> </u>
Number Of Log	gical Drives: 2. O					
State RAID TYPE Write Policy	: Optimal : O : Write Thru	ı				
4						Þ
		<u>O</u> k	<u>C</u> lear	E	rint	<u>H</u> elp

- Enclosure Management

RAID ドライブのエンクロージャを表示します。ドライブエンクロージャは3つのアイコンで表示しま す。アイコンをクリックすることで、ドライブごとに冷却ファン、電源、温度について表示します。



エンクロージャ管理アイコン

アイコンをクリックしたときにエンクロージャ対応の装置の場合、温度、ファン、電源の状態を表示します。

アイコン	説明
đ	選択したサブシステムの電源状態を表示します。
\mathbf{X}	選択したサブシステムのファン状態を表示します。
	選択したサブシステムの温度監視の状態を表示します。

- Alarm Control

物理ドライブがフェイルしたときにビープ音が鳴動させることができます。ビープ音が鳴動すると Silence Alarm が選択されるまでビープ音は継続します。Rebuild 終了後は Rebuild 終了のビープ音が 鳴ります。アラームをとめるために Silence Alarm を選択します。アラームの設定は次のとおりです。

設定	説明
Enable / Disable Alarm	Alarm Control オプション選択時、Disable Alarm が表示された場合は、現 アラーム設定は有効状態で、設定を無効に変更可能です。一方、Enable Alarm が表示された場合は、現アラーム設定は無効状態であり、設定を有 効に変更可能です。Enable Alarm が設定されているときはホットスペア Rebuild 完了した後にフェイルドライブが存在しない場合やすべてのロジ カルドライブがオンラインのときもビープ音が鳴動します。アラームを停 止するためには Silence Alarm 機能を使います。
Silence Alarm	ビープ音が鳴動している場合、アラームを停止します。ビープ音が鳴って いない場合は何も影響はありません。

- Fast Initialization

高速イニシャライズを行うかどうかを設定します。Enable(デフォルト)で使用して下さい。

Physical Drive メニュー

MegaRAID Power Const Configuration Adapter	ole Plus - Ver Physical Dry	sion 4.00t-J (M)	(Standard	j) Help								
<u>m</u> 8 2 3		• =	4	8			₽#	?				
192D	-	📕 Adapter	_1 •	-								
Physical Devices												
 Channel 1 (D)READY (D)READY	Channel 	2 Chnl 2 Tret Bebuild Abort Rebuild Tools Eirmware Dow Remove Property	Channel : 0	3 Make <u>⊆</u> Make <u>H</u> Eail Dri Spin D: Spin U:	Inline lotspare ve nwn	Channel (0) A2 (1) A	4 2-1-Onli 2-3-Onli 2-3-Onli 2-4-Onli EADY EADY ocessor	n n n				
				<u>R</u> ewind <u>Ej</u> ect Erase		-						
Logical Devices			<u>r</u>									
Adapter Array 1 Land LD 1: RAID 0: Array 2 Land LD 2: RAID 5: Global Hot Spare F	4094 MB 75 MB 2001										≪ Logical ` ⊂ Physical	√iew View
No of Physical drives 15						_	_	_	No of Lo	scical dri	ives 2	

- Rebuild

フェイルドライブの Rebuild を実施します。いつでも Rebuild を停止するために Abort Rebuild が選択 できます。この場合、ドライブは Rebuild 開始前の状態に戻ります。

RAID 1と5は冗長性があります。RAID グループの物理ドライブがフェイルした場合、RAID サブシ ステムの動作は継続しますが、冗長性は提供されません。さらに他の物理ドライブがフェイルするとサ ブシステムはダウンします。しかし、この前にフェイルした物理ドライブを交換し、RAID システムを Rebuild することができます。ただし、システム動作中の Rebuild 処理は、システムパフォーマンスに 影響する可能性があります。

- Update Drv Firmware

このオプションは使用できません。

- Change Status

操作対象の物理ドライブを選択してからこのオプションを使用してください。

オプション	説明
Make Online	物理ドライブをオンラインにします。
Fail Drive	物理ドライブをオフラインにします。
Spin Up	物理ドライブを操作可能な速度に回転させます。
Spin Down	物理ドライブをオフラインにする前に物理ドライブの回転を停止させます。
Make Hot Spare	選択した物理ドライブをホットスペアに設定します。ホットスペアは自動的に フェイルになった物理ドライブと変わり、ロジカルドライブをオンライン状態 にします。ホットスペアは RAID ドライブをパワーアップさせる通常はスタン バイ状態にある物理ドライブです。ホットスペアは RAID Level が 1 または 5 に対して使われます。ホットスペアを作成するためには物理ドライブアイコン をクリックしてください。ホットスペアにする物理ドライブは RAID アレイの ほかの物理ドライブと同じかより大きい容量の物理ドライブでなければなりま せん。

- Property

選択した物理ドライブのプロパティを表示します。

📲 Physical Drive Prope	rties 📃 🗖
Device Identification	
Vendor :	SEAGATE
Product :	ST32171W
Revision :	0
SCSI Level :	2
Device Attributes	
Channel :	1 ID : 2
Size :	2060 MB.
State :	Online
Device Attributes	
Media error:	0
Non-media error:	0 <u>R</u> eset Error Counters
Predictive Failure:	0
<u>Ok</u>	<pre></pre>

なお、Processorを選択してプロパティを表示した場合、Insertionの表示が正しく表示されない場合があります。

<u>Logical Drv メニュー</u>

Configuration Adapter Physical Drv Logical Drv Progress Help Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Properties Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure Image: Solution of the structure <th></th>	
Physical Devices Channel O(I)READY O	
Logical Devices Logical Devices Adapter Calculated Hot Spare Pool Logical	C Logical View C Physical View

- Initialize

選択したロジカルドライブの Initialize を行います。Initialize 実施中はその進捗を表示することができ ます。Initialize は物理ドライブの種別や容量によって実施時間が異なります。

R INITIALIZE	
Arrange	
Eff Logical Drive 0	
12	



Power Console Plus はいつでも Initialize を行うことができます。しかし、Initialize を実施する と、既存のデータが影響をうけ、すべてのデータが失われますので細心の注意を払って実施する ようにお願いいたします。

- Check Consistency

RAID Level が1または5のロジカルドライブの冗長データをチェックします。 チェックするロジカルドライブを選択し、Logical Drv メニューの Check Consistency を選択します。 実施を確認する次のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックするとチェックを開始しま す。

Parity Checking Selected Device(s)?

不一致を検出すると、自動的に修正します。しかし、データドライブで読み込みエラーが発生すると、 バッドデータブロックを作成したデータを使ってリアサインします。

- Properties

選択したロジカルドライブのプロパティを表示します。ロジカルドライブは先に選択しておいたロジカ ルドライブか、「Next」ボタンをクリックすることで表示できます。なお、表示位置がずれる場合があ りますが、表示上の問題であり、他の動作には影響ありません。

Logical Drive :	0	Size	1	8682 MB.
RAID Level :	RAID 0	State	:	Optimal
Read Policy :	Adaptive Read Ahead	Stripe Si	ize :	8K
Write Policy :	Write Thru			
Cache Policy :	Cached I/O			
Virtual sizing :	Disabled			

- Change Config

このサブメニューで Cache Policy の変更、Read Policy の変更、Write Policy の変更、RAID Level の変 更を行うことができます。

Configuration Adapter Physical Drv Logical Drv Progress Help	2
Properties Cancel Change Config Cache	
Physical Devices Head Channel 1 Channel 2 Mite Image: Spectral difference Image: Spectral difference Mite Image: Spectral difference Image: Spectral difference Mite Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectral difference Image: Spectra difference Im	Channel 4
Logical Devices	© Logical View © Physical View
NO OF PHYSICal UNVES 7	NO OF LOGICAL UNVEST

Change Cache Policy

Cache Memory Policy を Direct または Cached に変更できます。

Change Read Policy

Cache Read Policy を Normal、Read Ahead、Adaptive Read Ahead に変更できます。

Read Policy	説明
Normal	選択したロジカルドライブに対して先読みは行いません。これ がデフォルトです。
Read Ahead	選択したロジカルドライブに対して先読みを行います。
Adaptive Read Ahead	2回連続して継続したセクタに対してアクセスを行った場合は 先読みを行います。すべての Read 要求がランダムな場合は、 先読みは行ないません。ただし、その後シーケンシャル読み込 みが可能かどうかの評価は継続して行われます。

Change Write Policy

Cache Write Policy を Write Back、Write Thru に変更できる。

Write Policy	説明
Write Back	コントローラキャッシュがすべてのデータを受信した時点でコ ントローラはホストに対してデータ転送完了を通知します。
Write Thru	ディスクアレイがすべてのデータを受信した時点でコントロー ラはホストに対してデータ転送完了を通知します。これがデ フォルトの設定です。Write Thru は Write Back に比べてデータ の安全性の面では有利です。Write Back は Write Thru に比べて パフォーマンスの面で有利です。

Virtual Sizing

この機能は使用できません。

Add Capacity

ロジカルドライブに物理ドライブを追加するためのオプションです。最初に物理ドライブのドライ プアイコンをクリックします。追加先のロジカルドライブアイコンをクリックします。Logical Drv メニューの Add Capacityを選択します。確認メッセージが表示され、OK ボタンをクリックします。 RAID Level を選択します。このときグレイアウトしていない RAID Level を選択してください。 RAID Level 選択後、APPLY ボタンをクリックします。



・ ロジカルドライブに追加する物理ドライブは Ready 状態でなければなりません。

- ・ Add Capacity の操作中に行われる Reconstruction 中は操作ができなくなります。
- Windows 2000 の場合、ベーシックディスクに対してのみ容量の追加が可能です。
 ダイナミックディスクに対しては容量の追加はできません。

Progress Menu

Rebuild、Initialize、Check Consistency、Reconstruction が行われているときだけこのメニューが選択可能です。



オプション	説明
Rebuild Progress	Rebuild の進捗を表示します。
Diagnostics Progress	診断テストの進捗を表示します。
Initialize Progress	Initialize の進捗を表示します。
Check Consistency Progress	Check Consistency の進捗を表示します。
Reconstruction Progress	Reconstruction の進捗を表示します。
Performance Monitor	Performance Monitor 画面を表示します。

5. Power Console Plusの操作

Power Console Plusの操作について説明します。

基本的な用語及び操作の説明をします。

ドライブステータス

SCSI ID またはアレイの右側に表示される物理ドライブ状態は次のとおりです。

ドライブ ステータス	コード	説明
オンライン	OnIn	物理ドライブは正常。ロジカルドライブを構成する物理ドライブです。
レディ	READY	物理ドライブは正常。ホットスペアでもなく、ロジカルドライブの構成要素 でもありません。
		この状態の際"Master"と表示されている場合があります。
ホットスペア	HOTSP	オンラインの物理ドライブがフェイルした場合のスペアドライブです。
フェイル	Failed	物理ドライブは故障しており、サービス対象外です。
Rebuild 中	Rebuild	Rebuild 中の物理ドライブです。

Logical Devices

Logical Devices View にはカレントコントローラの構成済のアレイ、ロジカルドライブ、ホットスペアとホットスペアプール(Global hot spare pool)を表示します。

Logical Devices View 内にあるラジオボタンの Logical View をクリックし選択すると、構成済のロジカルド ライブを表示します。Physical View をクリックし選択すると、構成済の物理ドライブを表示します。

Adapter(コントローラ)プロパティの表示

Adapter の Properties をクリックし選択する と Adapter プロパティ(右図)を表示します。

カレントコントローラの Firmware Version、BIOS Version、Rebuild Rate 等を 確認することができます。

カレントコントローラ上に作成されたロジ カルドライブの RAID Level、Size 等も確認 することができます。

		Logical drive properties :	
Firmware Version :	T79G	Number Of Logical Drives: 1.	
BIOS Version :	2.06	Logical Drive 1	
Rebuild Rate :	30	State : Optimal RAID TYPE : 5	
Cache Size :	64 MB	Write Policy : Write Back Read Policy : Normal	
SCSI Transfer Rate :	Ultra 2	Cache Policy : Direct I/O Stripe Size : 64K Bytes	
Fast Initialization :	Disable	Size : 8192MB Component Physical Drives :	
		3	<u>.</u>
		D 2	

物理ドライブプロパティの表示

物理ドライブアイコンをダブルクリックし選択すると物理ドライ ブプロパティ(右図)を表示します。

物理ドライブの Vender、Size 等を確認することができます。

「Previous Drive」をクリックすると1つ前のIDの物理ドライ ブ、「Next Drive」をクリックすると次のIDの物理ドライブの物 理ドライブプロパティを表示します。

📲 Physical Drive Properties	×
Device Identification	
Vendor : Product : Revision : SCSI Level :	SEAGATE ST39102LC 0005 2
Device Attributes	
Channel : Size : State :	4 ID : 3 8681 MB. Online
Device Attributes	
Media error: Non-media error: Predictive Failure:	0 0 0
	<u>R</u> eset Error Counters
<u></u> K	<pre> <u> </u></pre>

ロジカルドライブプロパティの表示

ロジカルドライブアイコンをダブルクリック し選択するとロジカルドライブプロパティ (右図)を表示します。

ロジカルドライブの RAID Level、Read Policy、Size 等を確認することができます。

Logical Drive : 2	Size : 4135 MB.
RAID Level : RAID 1	State : Optimal
Read Policy : Normal	Stripe Size : 64K
Write Policy : Write Back	
Cache Policy : Direct I/O	Span Depth : 1
Virtual sizing : Disabled	

<u>アダプタ(コントローラ)の選択</u>

カレントコントローラが、対象とするコントローラではない場合、Adapter ボックスをクリックし、正しいコ ントローラを選んでください。

Power Console Plus は、Adapter ボックスで表示されたコントローラの制御が可能です。サーバに複数の コントローラが接続されている場合は、Adapter ボックスで選択することにより Mega RAID Client 監視・制 御対象にするコントローラの切り替えが可能です。

5.1 アレイ・ロジカルドライブの構成手順

アレイ・ロジカルドライブの構成手順について説明します。

手順1

Configuration メニューの Wizardを選 択してください。

右の画面で「Custom」モードまたは 「Automatic」モードを選択し「Next」ボ タンをクリックしてください。

「Automatic」モードを選択した場合は 手順4へ進んでください。



🖳 コンフィグレーションのタイプ



コンフィグレーションのタイプは Custom または Automatic のどちらかを選択できます。

タイプ	説明
Custom	パラメータを設定し、アレイとロジカルドライブを定義します。 特定の要求でコンフィグレーションを行なう場合は、このオプションを選んで ください。
Automatic	Wizard は動作環境にパラメーターを自動的に設定し、アレイおよびロジカルド ライブを自動的に定義します。 冗長アレイ構成にする場合は、Redundancy ボックスをクリックしてください。 最適な RAID システムを構成するためにこのオプションを選択してください。

手順 2

レディ状態の物理ドライブアイコンを選 択してください。

「Add to Array」ボタンをクリックし、 物理ドライブを New Array に割り当てます。

次に「Accept Array」ボタンをクリック し、「Next」ボタンをクリックしてくださ い。



♦ Channel 1 ● Channel 2 ● Channel 2 ● 0)-Ready ● 0)-Ready ● 0)-Ready ● 0)-Ready ● 0)-Ready ● 0)-Ready	hannel 3 Channel 4 (D)-Ready (C)-Ready (Add to Array Add Spare
Logical Devices		Accept Array
de la new array de la new array de array Global Hot Spare Pool		

手順 3

アレイの RAID Level 及びロジカル ドライブの容量を決定してください。

「Accept」ボタンをクリックし、 「Next」ボタンをクリックしてくだ さい。

アドバンスパラメータ(Write Policy等)の設定をするときには、 ここで「Advanced」ボタンをクリッ クしてください。

MegaRAID Power Console Plus Wizard	× II-
Action: Logical Drive Definition	
Logical Drive Parameters Logical Drive 1 RAID Level RAID 5 Size (MB) 1024	Advanced
Logical Devices Aray 1 Aray 1 La new : RAID (undefined) Clobal Hot Spare Pool	Cancel Help
Select RAID level and size, then Accept	Custom configuration

アドバンスパラメータの設定





は、システムの性能や安定した 運用を行っていただくために設 定する値を制限させて頂いてい る場合があります。コントロー ラに添付されている説明書など をあらかじめご確認下さい。

ご使用のコントローラによって

Advanced Parameters	
Stripe Size	64 KB
Read Policy	Normal
Write Policy	Write Back
Cache policy	Direct
🗖 Virtual sizing	
QK	<u>C</u> ancel

手順4

右の画面で構成するアレイの内容を 確認してください。

内容確認後、「Finish」ボタンをク リックしてください。



MegaRAID Power Console Pl	us Wizard					
Action: Configuration Physical Devices Charnel 1 Chardel 1 Cheady O)-Ready O)-Ready O)-Ready Cheady Cheady Chardel Cheady Cheady C	Preview annel 2 (0)-Ready (1)-Ready (2)-Ready	hannel 3	hannel 4 (0)A1 (1)A1 (2)A1 (2)A1 (3)-Ready			
Logical Devices			(d)-Ready (5)-Ready (6)Processor		Clasical	Mau
ma Adapter	MB				← Logica ← Physica	view I View
			< Back	Finish	Cancel	Help
Click Finish to save the config	uration			Custom c	onfiguration	

手順5

右の確認画面で、「OK」ボタンをクリックしてくだ さい。



新しいコンフィグレーションがコントローラにセー ブされます。

手順6

右の確認画面で、「OK」ボタンをクリックしてくだ さい。

ロジカルドライブの Initialize を行います。



キャンセルした場合は、メイン画面の Logical Devices View でロジカルドライブアイコンを 選択し、Logical Drv メニューの Initialize を選 ヒント 択して、Initialize を実施してください。

MegaRAID Power Cor	isole Plus(TM)	×
Would yo	u like to Initialia	æ?
OK.	キャンセル	

アレイの構成を変更する場合

MegaRAID Power Console Plus Wizard		
Action: Array Definition		
Physical Devices Channel 1 - On-Ready	Shannel 4 @0A1 @0A1 @2A1 @2A1 @3-Ready @5-Ready @6/Processor Add Spare	Array 1 文 Reclaim Array? OK キャンセル
Locial Devices The Adapter Ch 4 ID 0 Ch 4 ID 1 Ch 4 ID 1 Ch 4 ID 1 Ch 4 ID 2 Ch 4 ID 2 Ch 4 ID 2 Ch 4 ID 1 Ch 4	Accept Array Reclaim K Back Next > Cancel He	確認画面
Select drive(s),Add to Array and click Accept Array to close	Gustom configuration	

アレイの構成を変更するには、上の画面の Logical Devices View で変更するロジカルドライブアイコンを 選択し、「Reclaim」ボタンをクリックしてください。表示される確認画面で「OK」ボタンをクリックし てください。その後、手順2よりやり直してください。アレイにロジカルドライブを定義する前(手順4 の前)であれば、上の画面まで「Back」ボタンをクリックし戻ることで、同様の手順でアレイの構成を変 更することができます。

既存アレイへの物理ドライブの追加

Wizard 動作中は、物理ドライブを既存のアレイに追加することはできません。

物理ドライブを既存のアレイに追加する方法に付いては、「5.4 オンラインキャパシティエクス パンション実施手順」を参照してください。

トント

5.2 物理ドライブのRebuild 実施手順

物理ドライブのRebuild実施手順について説明します。

手順1

メイン画面の Physical Devices Viewで Rebuildを実施する物理ドライプアイコン (Fail 状態の物理ドライブアイコン)を選 択してください。

Physical Drv メニューの「Rebuild」を 選択してください

🚖 MegaRAID Power Console Plus - Version 4.00t-J (M) (Standard)	
Configuration Adapter Physical Drv Logical Drv Progress Help	
Update Dry Firmware	
In International	
Properties	
Channel 1 OWREADY O	
Logical Devices	<u> </u>
Array 1	 Logical View
Les LD 1 : RAID 5 : 1024 MB	C Physical View
No of Physical drives 15 No of I	Logical drives 1

手順 2

右の確認画面が表示されますので「OK」 ボタンををクリックしてください。



Rebuild が開始され、右の画面で進捗が表示 されます



・進捗が表示されているときに 「Abort」ボタンをクリックすると、 Rebuildを強制終了させることがで きます

・Rebuildを実施したあとは Check Consistency でロジカルドライブの 状態をチェックすることをおすすめ します。Check Consistency につい ては、「5.3 ロジカルドライプの

Check Consistency 実施手順」を参照してください。

5.3 ロジカルドライブのCheck Consistency 実施手順

ロジカルドライブのCheck Consistency実施手順について説明します。

手順1

メイン画面の Logical Devices View で Check Consistency を実施するロジ カルドライブアイコンを選択してくだ さい。

Logical Drv メニューの「Check Consistency」を選択してください。

MegaRAID Power Console Plus - Version 4.00t-J (M) (Standard)	
onfiguration Adapter Physical Drv Logical Drv Progress Help	
🛍 🖴 🏭 🥡 📁 Initialize	
Poperties Change Config	
Physical Devices	
Ohannel 1 Ohannel 2 Ohannel 3 Ohannel 4 ODREADY ODREADY ODREADY ODREADY	
ogical Devices	
an Adapter Image: Array 1 Image: Array 1 I	○ Logical View ○ Physical View
o of Physical drives 15 No of L	jucial drives 1

手順2

右の確認画面が表示されますので、「OK」 ボタンををクリックしてください。



Check Consistencyが開始され、右の画面 で進捗が表示されます。



進捗が表示されているときに、 「Abort」ボタンをクリックすると Check Consistency を強制終了させる ヒント ことができます。

Arrange	
📲 Logical Drive 1	
Abort	
11%	

5.4 オンラインキャパシティエクスパンション実施手順

ここでは、オンラインキャパシティエクスパンションの実施手順について説明します。

<u>アレイの容量拡張(Add Capacity)</u>

) 以下の条件のときのみ既存のアレイに物理ドライブを追加し容量を拡張することができます。

- アレイには、ただ1つのロジカルドライブが構成されていること(アレイに複数のロジカルドラ イブが構成されている場合はアレイの容量拡張を行うことはできません)。
- Windows 2000 の場合、容量を拡張するディスクがベーシックディスクであること(ダイナミックディスクに対しては容量の追加はできません)。
- ・ ご使用のディスクアレイコントローラが N8103-80/N8103-81 の場合のみ本機能を使用することができます。N8103-73/N8103-73A ご使用時は使用できませんので注意してください。



重要

容量拡張後のアレイの選択できる RAID Level は、アレイを構成している物理ドライブの台数により 異なります。物理ドライブが2台のときは RAID 0 及び1、3台以上のときは RAID 0 及び5 が選択 できます。

新しい物理ドライブは SCSIバスまたはサブシステム(ディスクラック等)に追加できます。



・不測の事態があっても対処できるように、容量を追加する前に必ず、ロジカルドライブ上にある
 パーティションのバックアップを行なうことをお勧めします。

Power Console Plus を使ってアレイの容量を拡張

Power Console Plus のメイン画面で追加する物理ドライブが適切な Channel に表示されていることを確認してください。既存のアレイに物理ドライブを追加し容量を拡張するには3つの方法があります。

第1の方法は

手順 1

メイン画面の Physical Devices View で追 加する物理ドライブのアイコン、Logical Devices View で物理ドライブを追加するロ ジカルドライブのアイコンを選択してください。

Logical Drv メニューの「Change Configuration」の「Add Capacity」を選択し てください。

A MegaRAID Power Console Plus - Version 400t-J (M) (Standard)	_ 🗆 🗵
Configuration Adapter Physical Drv Logical Drv Progress Help	
加 5 品 シ Properties	2
Charge Confie Sector	
Physical Devices Write	
Coharnel 1 - UREADY - UR	Delh Delh Selh Self Seor
Logical Devices	
■ Adapter ← Price 1 ← 101 FAID 5 1024 MB ← ■ Global Hot Spare Pool	⊂ Logical View ⊂ Physical View
No of Physical drives 15	No of Logical drives 1

手』	貭	2
----	---	---

右の確認画面が表示されますので「OK」ボタン をクリックしてください。

$\langle \rangle$	Add selected Physical Drive(s) to selected Logical Driv
	OK キャンセル

手順 3

RAID Level を選択するための画面が表示され ます。

RAID Level を選択し、「Apply」ボタンをク リックしてください。

Change RAID Level	
Logical Drive 1	
Select new RAID level :	
Levels	<u>A</u> pply
© RAID U	
CRAID 1	<u>C</u> ancel
CRAID 3	
CRAID 5	Help

手順4

アレイの Reconstruction(Add Capacity) が開始され、右の画面で進捗が表示されま す。





進捗表示中に「Info」ボタンをク リックすると、ロジカルドライブ ____ ^{ヒント}の情報と追加する物理ドライブの 情報を参照できます。

econstruction Details		
Logical Drive being r Mode of Operation : No. of Physical Drive	econstructed : 1 Adding Drive(s) (s) involved : 1	
Present Configuration	Desired Configuration	
Raid Level : 5 Stripe Size: 64K Bytes Physical Drive(s): Ch 4 ID 0 Ch 4 ID 1 Ch 4 ID 2	Raid Level : 5 Stripe Size: 64K Bytes Added Drive(s): Ch 4 ID 3	×
	<u>о</u> к <u>Н</u> е	lp

第2の方法は

手順 1

メイン画面の Physical Devices View で追 加する物理ドライブのアイコン、Logical Devices View で物理ドライブを追加するロ ジカルドライブのアイコンを選択してくださ い。

選択したロジカルドライブを右クリックし、 Advanced Menuの「Add Drive」を選択して ください。

🚖 MegaRAID Power Console Plus - Ver	rsion 4.00t-J (M) (Standar	·d)			
Configuration Adapter Physical Drv	Logical Drv Progress	Help			
11 6 & V =	• • • •	* 🌋 🖾	DA ?		
I92D(LOCAL)	🗖 Adapter_1	•			
Physical Devices					
Channel 1 Channel 1	2 ADV ADV ADY ADY ADY	3	arnel 4 (0)A1-1-Onin (1)A1-2-Onin (2)A1-3-Onin (2)A1-3-Onin (2)A1-3-Onin (3)READY (5)READY (6)Processor		
Logical Devices					
Adapter	ogical Drive 1			⊂ Logica ⊂ Physic	l View al View
De Ini Ož	elete tialize yeck Consistency				
OH	nange Policy				
<u>A</u>	Ivanced Menu 🔸 🖓	ange Config			
No of Physical drives 15	operty Ac	d Drive		No of Logical drives 1	

手順 2

右の確認画面が表示され増すので「OK」 ボタンをクリックしてください。

MegaRAIE) Power Console P	lus(TM)	×	
?	Do you want add all the selected dr			
	TOK I	キャンセル		

手順 3

RAID Level を選択するための画面が表示 されます。

RAID Level を選択し、「Apply」ボタンを クリックしてください。

Logical Dr	ive 1
elect new RAID level : Levels	Apply
⊙RAID 0	
CRAID 1	<u>C</u> ancel
CRAID 3	
CRAID 5	Help

手順4

アレイの Reconstruction(Add Capacity)が開始され、右の画面で進捗 が表示されます。

RECONSTRUCTING Arrange	
<mark>- ≇ Logical Drive 1</mark> Info	_O×
22%	

第3の方法は

手順 1

メイン画面の Physical Devices View の追 加する物理ドライブのアイコンを Logical Devices View の物理ドライブを追加するロ ジカルドライブのアイコンまでドラッグして ください。

HezaRAID Power Console Plus - Version 400t-J (M) (Standard)	<u>_ ×</u>
Configuration Adapter Physical Drv Logical Drv Progress Help	
▩	
Maine Adapter_1	
Physical Devices	
Channel 1 Channel 2 WUREADY Channel 2 OTREADY Channel 3 COREADY Channel 3 COREADY CREADY COREADY CREADY	
Logical Devices	
Adapter	Cogical View Cogical View
Got - State - 1024 MB	C Physical View
No of Physical drives 15 No of Logi	cal drives 1

手順 2

RAID Level を選択するための画面が表示 されます。

RAID Level を選択し、「Apply」ボタンを クリックしてください。

Change RAID Level	<u>_ </u>
Logical Drive 1	
Select new RAID level :	
Levels	<u>A</u> pply
© RAID 0	
CRAID 1	<u>C</u> ancel
CRAID 3	
CRAID 5	Help

手順 3

アレイの Reconstruction(Add Capacity)が開始され、右の画面で進捗 が表示されます。

RECONSTRUCTING Arrange	<u>- 0 ×</u>
Logical Drive 1	
22%	

この後は Windows よりパーティションを作成してください。

6. 定期的なCheck Consistencyの実施

アレイディスクに対して、定期的に Check Consistency を実施することで、検出した不整合を修復すること により、物理ドライブ障害時の Rebuild 失敗を未然に防ぐことができます。また、Check Consistency はロジ カルドライブの全面 Read を行ないます。これは、物理ドライブの普段アクセスのない部分についてもアク セスを行なうことになるので、物理ドライブの後発不良の早期検出の役目を果たすこともできます。このた め、定期的な Check Consistency の実施はマルチドライブフェイル状態の発生の確率を低下させることがで き、アレイシステムの安定した運用を保つことができます。この定期的な Check Consistency は、コマンド プロンプトで下記実行形式のコマンドを動作させることで行います。このコマンドはスケジュールを設定す るためのコマンドです。スケジュールを設定し Check Consistency を実施した場合、開始 / 終了および 15 分 間隔の実行状態がイベントログに出力されます。

<u>Check Consistency の実行条件</u>

- ・ LSI Logic ディスクアレイシステムであること
- ・ Power Console Plus をインストールしていること
- ・ サービス MegaServ が開始になっていること

<u>実行形式</u>

・形式

```
megactrl arg1 [ arg2 [ arg3 [ arg4 [ ... ] ] ] ]
(megactrl.exe は Power Console Plus をインストールすると一般に「c:¥winnt¥system32」にインストー
ルされます)
```



以下で説明しているパラメータ以外は使用しないでください。

	引数	意味
arg1	-cons	Check Consistency のスケジュール設定を行います。時間設定の他の arg が後続します。他の arg の指定がないときはそれぞれのディフォル ト値使われます。
arg2 ~ argi	-h	Check Consistency の開始時間を設定します。0 時から 23 時まで設定 可能です。(ディフォルトは 0 時)
	-d	Check Consistency を動作させる曜日を0~6で設定します。 (ディフォルトは日曜日で0)
	-w	Check Consistency の動作間隔を0~24 で週間隔を設定します。なお- w0 は毎日を意味します。(ディフォルトは1週間隔)
	-dateMM/DD/YYYY	Check Consistency の動作開始日を設定します。 (ディフォルトはコマンド実施日)
		YYYYの範囲は 1900~2038(2038 年を超えることはできません)
	-abort	Check Consistency が実施中ならば、終了させます。

	引数	意味
argi	-enChkCon	スケジュール時間に Check Consistency を実施させます。 (ディフォルト)
	-disChkCon	スケジュール時間の Check Consistency を抑止します。動作中の Check Consistency には影響しません。-enChkCon と同時に指定した場合は最 後に指定した方が有効になります。

<u>使用例</u>

- ・ 日曜日ごとに 0 時に Check Consistency を実施する場合 megactrl -cons -h0 -d0 -w1
- すべてのコントローラのすべての Check Consistency を終了させる場合 megactrl -cons -abort
- Check Consistency のスケジュールを無効にする場合 megactrl -disChkCon
- Check Consistency のスケジュールを有効にする場合 megactrl -enChkCon



システムの PATH の設定によって上記のコマンドにディレクトリの指定が必要になります。

例 · C:¥winnt¥system32¥megactrl -cons

7. 電源制御抑止ドライバについて

AMI Standby/Hibernation Lock をインストールする前に

N8103-64/N8103-64A/N8103-73/N8103-73Aディスクアレイコントローラを使用中の休止状態やスタ ンバイへの移行はサポート対象外です。AMI Standby/HIbernation Lock機能を使用すると、システ ムの休止状態やスタンバイ状態への移行を抑止できます。

この機能はPower Console Plusが動作する以下の環境にインストールできます。

 $\boldsymbol{\cdot} \, \texttt{Microsoft}^{\,\mathbb{R}} \,\, \texttt{Windows}^{\,\mathbb{R}}$ 2000 Server

 $\boldsymbol{\cdot}$ Microsoft $^{\textcircled{R}}$ Windows $^{\textcircled{R}}$ 2000 Advanced Server

AMI Standby/Hibernation Lock のインストール

次の手順に従ってAMI Standby/Hibernation Lockをインストールします。

- 1. 管理者権限のあるアカウント(administrator など)で、システムにログオンする。
- 2. インストールを始める前に実行中のアプリケーションを終了する。
- 3. 「EXPRESSBUILDER」CD-ROM をドライブにセットする。
- 4. .エクスプローラなどを使用して、CD-ROMの以下のバッチファイルを起動する。 ESMPRO¥JP¥1386¥PCON¥ACPI_drv¥ami_inst.bat コマンドプロンプトに以下のメッセージが表示されるとインストールは完了です。 Driver Installed successfully

以上でインストールは完了です。



AMI Standby/Hibernation Lock をインストールする場合には以下の点に注意してください。 インストール前にデバイスマネージャのシステムデバイスに NEC Standby/Hibernation Lock が あるか確認してください。この環境に AMI Standby/Hibernation Lock インストールし、その後 アンインストールする場合には、NEC Standby/Hibernation Lock のインストールが必要になり ます。

AMI Standby/Hibernation Lock のアンインストール

- 1. 管理者権限のあるアカウント (administrator など)で、システムにログオンしてください。
- 2. スタートメニューから[設定]を選択し、[コントロールパネル]を起動します。
- 3. [管理ツール]内の[コンピュータの管理]を起動し、[デバイスマネージャ]をクリックします。
- 4. デバイスの一覧が表示されます。
- 5. デバイスの一覧より[システムデバイス]、[AMI Standby/Hibernation Lock]の順でダブルクリックします。 [AMI Standby/Hibernation Lock のプロパティ]画面が表示されます。
- [ドライバ]タブをクリックし、[削除(U)]をクリックします。
 以下のような[デバイスの削除の確認]画面が表示されます。

デバイスの削	除の確認	<u>?×</u>		
	AMI Standby/Hibernation Lock			
警告:システムからこのデバイスを削除しようとしています。				
	OK キャンセル			

[OK]をクリックしてください。

8. 注意事項

- Power Console Plusは固定でポート番号(1047、1048)を取得している為、他のソフトウェア等にて同一のポート番号を取得した場合に以下のようなエラーメッセージがイベントログ上に登録される、もしくはメッセージボックスに表示され、PowerConsolePlusが動作できない可能性があります。 このような場合はポート番号(1047、1048)を使用している他のソフトウェア等のポート番号を変更してください。
 - メッセージボックスに表示される場合 -
 - ^r bind(sock) faild 10048 is the error _
 - ^r listen(sock) faild 10038 is the error _
 - イベントログに表示される場合 アプリケーションログに表示されます。 ソース : REG_SERVER イベントID : 150 説明 : Registration Server Alert Message : 10038 is the Listen error ソース : REG_SERVER イベントID : 150 説明 : Registration Server Alert Message : 10048 is the Binding error
- **2**. Power Console Plusをアンインストールする際に以下のイベントログが登録されることがありますが、 システムの動作上問題ありません。
 - ソース : Service Control Manager
 イベントID: 7031
 説明 : SNMP Service サービスは不正に終了しました。これは1回発生しています。